




ALESIS

VORTEX
WIRELESS

ユーザガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://alesis.jp/>

ALESIS <お問い合わせ>

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション
カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23
オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザガイド

はじめに

同梱品

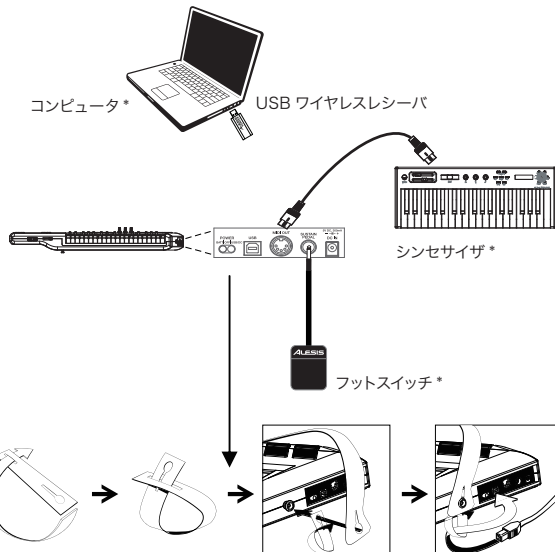
1. リストアップされている同梱品の商品が揃っているか確認をしましょう。
 2. ご使用前に必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。
 3. ご使用の際は、適切な場所に設置を行ってください。
- ・ VORTEX Wireless 本体
 - ・ USB ワイヤレスレシーバ
 - ・ USB 延長ケーブル
 - ・ USB ケーブル
 - ・ 単三電池 4 本
 - ・ ストラップ
 - ・ ケーブルハーネス
 - ・ Ableton Live Lite Alesis Edition インストールディスク
 - ・ SONIVOX VORTEX I (ダウンロード提供)
 - ・ Ignite (ダウンロード提供)
 - ・ User Guide (英文)
 - ・ Safety & Warranty Manual (英文)

サポート

VORTEX Wireless の最新情報につきましては、製品ページ (<http://alesis.jp/vortex-wireless/>) をご覧ください。

また、製品のサポートにつきましては、サポートのページ (<http://alesis.jp/support/>) をご覧ください。

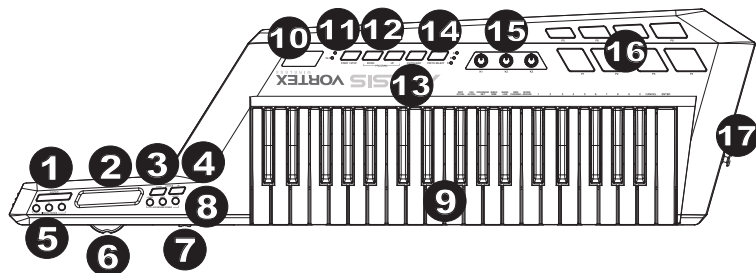
クイックスタート/接続例



*印は別売です。

1. 単三電池を VORTEX Wireless の電池ボックスに正しく装着してください。
2. USB ワイヤレスレシーバをお使いのコンピュータの USB ポートに接続します。
注意：他の USB ケーブルなどと干渉してしまっても、お使いの USB ポートに USB ワイヤレスレシーバが装着できない場合は、付属の USB 延長ケーブルをお使いください。
3. VORTEX Wireless の電源スイッチを「BATT」にセットし、電源を入れます。この時に、VORTEX Wireless は自動的に USB ワイヤレスレシーバとリンクします。

ネック&トップパネル



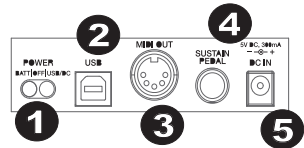
- サスティン・ボタン** - このボタンを押している間に演奏された音には、ボタンを離すまで、すべてサスティン効果がかかります。
- リボン・コントローラ** - MIDI 情報を送信するタッチセンス・コントローラです。リボン・コントローラがどのように動作するかを設定するには、後述の「**ノブ、スライダ、加速度センサ、リボン・コントローラの編集**」の項目をご参照ください。
- オクターブ・ダウン・ボタン** - このボタンを押すと、キーボードのオクターブレンジを下げることができます。
- オクターブ・アップ・ボタン** - このボタンを押すと、キーボードのオクターブレンジを上げることができます。
- リボン・コントロール・ボタン** - リボン・コントローラから送信される MIDI 情報のタイプを設定します。リボン・コントロール・ボタンがどのように動作するかを設定するには、後述の「**ノブ、スライダ、加速度センサ、リボン・コントローラの編集**」の項目をご参照ください。
- ピッチ・ホイール** - 音のピッチを上とするピッチバンド MIDI 情報を送信します。ピッチホイールのセッティングについては、後述の「**ピッチホイールの編集**」の項目をご参照ください。
- スライダ** - アサインされている MIDI 情報を送信します。スライダがどのように動作するかを設定するには、後述の「**ノブ、スライダ、加速度センサ、リボン・コントローラの編集**」の項目をご参照ください。
- キーボード・ゾーン・ボタン** - これらのボタンでキーボード・ゾーンを切り替えます。キーボード・ゾーン・ボタンがどのように動作するかを設定するには、後述の「**キーボード・ゾーンの編集**」の項目をご参照ください。
- キーボード** - MIDI ノート情報を送信する、ベロシティおよびアフタータッチ対応のキーボードです。パッチ・エディット・モードでは以下の値を入力するためにも使用します。
 - **CAL ACCEL** (Calibrate Accelerometer) : 加速度センサの調整を行います。
 - **BANK LSB** (Least Significant Byte) : Bank LSB コントロールチェンジ情報を送信します。
 - **BANK MSB** (Most Significant Byte) : Bank MSB コントロールチェンジ情報を送信します。
 - **PROGRAM SET** : パッチにプログラム・ナンバを保存します。
 - **MIDI CHANNEL** : 各操作子の MIDI チャンネルを設定します。
 - **MODE ASSIGN** : 各操作子のモードを設定します。
 - **EDIT ACCEL** (Edit Accelerometer) : 加速度センサの MIDI 情報を設定します。
- ディスプレイ** - VORTEX Wireless の各機能やそれらのデータや値などを表示します。
- START/STOP ボタン** - MIDI スタート / ストップ情報 (またはコントロールチェンジ情報) を押す度に交互に送信します。プレイ情報が送信された場合に LED が点灯し、ストップ情報が送信された場合に LED は消灯します。START/STOP ボタンがどのように動作するかを設定するには、後述の「**START/STOP ボタンの編集**」の項目をご参照ください。
- プログラム・チェンジ Up/Down ボタン** - コンピュータや接続されている MIDI デバイスにプログラム・チェンジ情報を送信します。どちらのボタンも長押しすることで、10 プログラムずつ飛ばして送信します。注意 : プログラム・チェンジ情報は、ボタンから指を離す際に送信されます。
- PATCH EDIT** - このボタンを押すことで、パッチ・エディット・モードとパフォーマンス・モードが交互に切り替わります。

ヒント : パッチ・エディット・モードの際には、パッチ・セレクトの三つの LED (A~C) が点灯します。
- PATCH SELECT** - このボタンとドラム・パッド (P1~P8) を使って、本体のパッチを選択します。

15. **ノブ** - このノブを回すことにより MIDI 情報を送信します。各ノブは、それぞれ異なる MIDI パラメータをアサイン可能です。ノブがどのように動作するかを設定するには、後述の「**ノブ、スライダ、加速度センサ、リボン・コントローラの編集**」の項目をご参照ください。
16. **トリガ/ドラム・パッド** - パッドを押すことで、MIDI メッセージを送信したり、PATCH SELECT ボタンとの併用で、VORTEX Wireless 本体のパッチを選択したりします。パッドがどのように動作するかを設定するには、後述の「**パッドの編集**」の項目をご参照ください。
17. **ストラップ・ボタン** - ここにギター用のストラップを掛けて使用します。

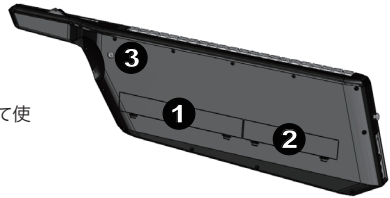
サイドパネル

1. **電源スイッチ** - 本体の電源をオン・オフします。乾電池で動作させる場合は、「BATT」側に、USB や別売の AC アダプタで動作させる場合は、「USB/DC」側にセットします。「OFF」で電源オフになります。
2. **USB ポート** - 付属の USB ケーブルでコンピュータの USB ポートと接続します。電源は USB を経由して供給されます。
3. **MIDI 出力端子** - 標準的な MIDI ケーブルで外部 MIDI デバイスの MIDI 入力端子と接続します。
4. **サスティン・ペダル端子** - 別売のサスティン・ペダル (1/4"TS 端子で標準的なアンラッチ・タイプのスイッチ) を接続します。
5. **電源コネクタ** - 別売の AC アダプタを接続します。



裏パネル

1. **ストレージ** - USB ケーブルや MIDI ケーブルなどを収納しておける小物スペースです。
2. **電池ボックス** - 4 本の単三電池をここにセットします。
3. **ストラップ・ボタン** - ここにギター用のストラップを掛けて使用します。



ソフトウェアとの使用

SONiVOX VORTEX-I DVI

1. VORTEX Wireless の製品ページ (<http://alesis.jp/vortex-wireless/>) から、SONiVOX VORTEX-I Dvi をダウンロード&インストールします。
2. VORTEX Wireless の PATCH SELECT ボタンを、「C」が点灯するまで何度か押します。
3. 5 秒以内にパッド 7 (P7) を押し、VORTEX-I 用のプリセットを選びます。ディスプレイには P23 と表示されます。

Ableton Live Lite Alesis Edition

付属の Ableton Live Lite をインストールするには：

1. 付属の DVD をコンピュータの DVD ドライブに挿入し、「Setup」アプリケーション (Windows は「.exe」ファイル、Mac の場合は「.mpkg」ファイル) を開き、画面の指示に従ってインストールを行います。
2. インストール終了後、VORTEX Wireless をコンピュータに接続し、電源を入れます。
3. Ableton Live Lite ソフトウェアを起動します。
4. 以下の手順で、マッピングを行います。
 1. VORTEX Wireless の製品ページ (<http://alesis.jp/vortex-wireless/>) から「Ableton Live Controller Map」をダウンロードし、マッピングファイルを Ableton Live Lite にインストールします。
 2. VORTEX Wireless の PATCH SELECT ボタンを、「A」が点灯するまで何度か押します。
 3. 5 秒以内にパッド 1 (P1) を押し、Ableton Live 用のプリセットを選びます。ディスプレイには P1 と表示されます。

Ignite

Ignite は、VORTEX Wireless とシームレスに動作する革新的な音楽制作ソフトウェアです。あなたのアイデアに瑞々しい息吹を与え、それを楽曲創作へと導く新しいパートナーと言えるでしょう。

ご好評をいただいている AIR 製インストゥルメント (Strike、Structure、Velvet など) の音色の一部を含む、275 以上の高品位インストゥルメント (鍵盤楽器、ドラム&パーカッション、ギター&ベース、シンセサイザ、ストリングス、ブラス、木管楽器など) を内蔵しています。それらはすべて Ignite に最適化され、パラメータなどは接続された VORTEX Wireless に自動的にマッピングされます。

Ignite は、VORTEX Wireless の製品ページ (<http://alesis.jp/vortex-wireless/>) からダウンロード可能です。

Vyrex VORTEX

Vyrex VORTEX パッチエディタを使用すれば、お使いのコンピュータから VORTEX Wireless の各操作子のマッピングの編集、管理が簡単に行えます。Vyrex VORTEX は、VORTEX Wireless の製品ページ (<http://alesis.jp/vortex-wireless/>) からダウンロード可能です。

モード

パフォーマンス・モード

ディスプレイに **PF** と表示されている際は、VORTEX Wireless はパフォーマンス・モードで動作しています。このモードでは、VORTEX Wireless から常に MIDI 情報が送信されています。

パッチをロードする

パッチとは、編集や呼び出し可能な VORTEX Wireless のプリセットを指します。

パッチを呼び出す際、USB ポートや MIDI 出力端子を通じて MIDI プログラム・チェンジ情報を送信します。この設定については、後述の「**プログラム・チェンジ情報の編集**」の項目をご参照ください。

VORTEX Wireless には、**A~C** の三つのパッチバンクがあり、バンクそれぞれでパッド (**P1~P8**) を押すことにより計 24 のパッチを選択できます。

1. **PATCH SELECT** ボタンを押し、目的のパッチバンク (**A~C**) を選びます。
2. パッド (**P1~P8**) を押して、パッチを呼び出します。または、**PATCH SELECT** ボタンを押しながら **PROGRAM UP/DOWN** ボタンでひとつずつパッチを送る (戻す) ことも可能です。

パッチ・エディット・モード

パッチの編集

PATCH EDIT ボタンを押すことにより、パッチ・エディット・モードに入ります。A~C の LED がすべて点灯し、ディスプレイには **PE** と表示されます。このモードで MIDI 情報の値を編集できます。パッチ・エディット・モードを抜け、変更点を保存するには、もう一度 **PATCH EDIT** ボタンを押します。

パッチは最大 24 個まで異なるパッチとして、保存、呼び出しが可能です。

1. 編集を行うパッチを呼び出します。
2. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
3. 設定したい操作子 (ノブやスライダ等) を選択し、パラメータの設定を行います。
4. **ENTER** キーを押すとパッチに保存されます。もし保存せず、変更前に戻したい場合は **CANCEL** キーを押します。
5. **PATCH EDIT** ボタンを押して、パッチ・エディット・モードを抜けます。

パッドの編集

各パッドには以下の 5 つのモードを設定できます。

- ・ **Note (no)** : ノートオン、ノートオフのメッセージが送信されます。
- ・ **CC トグル (cc1)** : パッドを押す毎に、割り当てたコントロールチェンジ信号の二つの値を、交互に送信されます。
- ・ **CC モーメンタリ (cc2)** : パッドを押した時と、離れた時で割り当てたコントロールチェンジ信号の二つの値が出力されます。
- ・ **プログラム・チェンジ (Pc)** : パッドを押した際に、プログラムチェンジを送信します。
- ・ **パニックモード (Pnc)** : 「オール・ノート・オフ」信号を送信します。

パッドのモードを設定するには：

1. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
2. 編集を行うパッドを押します。ディスプレイには編集対象のパッド名が表示されます。例えば、パッド 1 の編集時は **Pd1** と表示されます。
3. **MODE ASSIGN** のキーを押します。
4. **MODE ASSIGN** キーを押す度に、**no > cc1 > cc2 > Pc > Pnc** と順に繰り返し表示されますので、目的のモードを選択します。または、数字キー (1~5) で選択することもできます。
5. **ENTER** キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は **CANCEL** キーを押します。

パッドのパラメータを編集するには：

1. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
2. 編集を行うパッドを押します。ディスプレイには編集対象のパッド名が表示されます。例えば、パッド 1 の編集時は **Pd1** と表示されます。
3. 三つのノブ (**K1~K3**) を使って、(後述の表に基づき) 各パラメータの値を設定します。
ヒント : 各ノブの値は、数字キーを使って数値を直接入力することも可能です。
4. **ENTER** キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は **CANCEL** キーを押します。

パッドの MIDI チャンネルを変更するには：

1. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
2. 編集を行うパッドを押します。ディスプレイには編集対象のパッド名が表示されます。例えば、パッド 1 の編集時は **Pd1** と表示されます。
3. **MIDI CHANNEL** キーを押します。ディスプレイには現在設定されている MIDI チャンネルが表示されます。
4. 数字キーを使用して、MIDI チャンネル (**1-16**) を入力します。
5. **ENTER** キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は **CANCEL** キーを押します。

パッドの各モードにおけるパラメータは、次頁の表をご参照ください。

モード	ノブ	機能
Note	Knob #1	MIDIノート：MIDIノート・ナンバ (0~127)
	Knob #2	ベロシティ：ノートオン情報のベロシティ 設定値1~127：ベロシティは設定値の固定 (ベロシティ・センサ無効) 設定値0：パッドを叩いた強さに応じてベロシティの値が変化 (ベロシティ・センサ有効)
	Knob #3	パッド・ベロシティ・カーブ：上記ベロシティ設定が0に設定された際に有効。後述のベロシティ・カーブを参照のこと。
CCトグル	Knob #1	CC# (0~127)
	Knob #2	トグル値1 (0~127)
	Knob #3	トグル値2 (0~127)
CCモーメンタリ	Knob #1	CC# (0~127)
	Knob #2	押した際の値 (0~127)
	Knob #3	離れた際の値 (0~127)
プログラム・チェンジ	Knob #1	プログラム・ナンバ (0~127)
	Knob #2	Bank LSB (0~127)
	Knob #3	Bank MSB (0~127)
パニックモード	n/a	接続されているデバイスに「オール・ノート・オフ」信号を送信します。

ノブ、スライダ、加速度センサ、リボン・コントローラの編集

各操作子（ノブ、スライダ、加速度センサ、リボン・コントローラ）には以下の3つのモードを設定できます。

- ・ **コントロールチェンジ (cc)**：コントロールチェンジ情報を送信します。
- ・ **ピッチベンド (Pb)**：ピッチベンド情報を送信します。
- ・ **アフタータッチ (AF)**：アフタータッチ情報を送信します。

各操作子のモードを設定するには：

1. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
2. 編集を行う操作子を動かします。ディスプレイには編集対象の操作子名が表示されます。
 - a：加速度センサを選択するには、**EDIT ACCEL** キーを押します。
 - b：リボン・コントローラを選択するには、3つの **RIBBON MODES** ボタンから編集したいボタンを押します。

ヒント：リボン・コントローラは、**RIBBON MODES** で、ひとつのパッチで3つのモードを切り替えられます。
3. **MODE ASSIGN** のキーを押します。
4. **MODE ASSIGN** キーを押す度に、**cc > Pb > AF** と順に繰り返し表示されますので、目的のモードを選択します。または、数字キー（**1~3**）で選択することもできます。
5. **ENTER** キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は **CANCEL** キーを押します。

各操作子のパラメータを編集するには：

1. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
2. 編集を行う操作子を動かします。ディスプレイには編集対象の操作子名が表示されます。
 - a：加速度センサを選択するには、**EDIT ACCEL** キーを押します。
 - b：リボン・コントローラを選択するには、3つの**RIBBON MODES** ボタンから編集したいボタンを押します。
3. 三つのノブ (**K1**~**K3**) を使って、(後述の表に基づき) 各パラメータの値を設定します。

ヒント：各ノブの値は、数字キーを使って数値を直接入力することも可能です。
4. **ENTER** キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は **CANCEL** キーを押します。

各操作子の MIDI チャンネルを変更するには：

1. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
2. 編集を行う操作子を動かします。ディスプレイには編集対象の操作子名が表示されます。
 - a：加速度センサを選択するには、**EDIT ACCEL** キーを押します。
 - b：リボン・コントローラを選択するには、3つの**RIBBON MODES** ボタンから編集したいボタンを押します。
3. **MIDI CHANNEL** キーを押します。ディスプレイには現在設定されている MIDI チャンネルが表示されます。
4. 数字キーを使用して、MIDI チャンネル (**1-16**) を入力します。
5. **ENTER** キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は **CANCEL** キーを押します。

各操作子の値の増減方向を反転させるには：

各操作子は、値の増減方向を逆転させることが可能です。例えば、以下の手順で、スライダ (**S1**) を左に動かすことで **CC** の値を減らすのか、増やすのか設定できます。

1. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
2. スライダ (**S1**) を動かします。ディスプレイには **SL1** と表示されます。
3. ノブ 2 (**K2**) を時計回り (**127**) に、ノブ 3 (**K3**) を反時計回り (**0**) に回し切ります。
4. **ENTER** キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は **CANCEL** キーを押します。
5. **PATCH EDIT** ボタンを押し、パッチ・エディット・モードを抜け、パフォーマンス・モードに切り替えます。これで、スライダ (**S1**) は、左に動かすと設定した **CC** の値が増え、右に動かすと減っていく状態となります。

リボン・コントローラの反応モードを設定するには：

リボン・コントローラは、2つの異なる反応モードを切り替えることができます。ひとつはラッチ・モード (**Lch**) で、リボン・コントローラから指を離れた後もパラメータはその位置の値が保持されます。もうひとつは、リターン・モード (**rn**) で、このモードでは、リボン・コントローラから指を離れた後、パラメータは初期値に戻ります。

1. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
2. リボン・コントローラにタッチします。ディスプレイには **rib** と表示されます。
3. **MODE ASSIGN** キーを押します。
4. **MODE ASSIGN** キーを押す度に、**Lch** (ラッチ・モード) > **rn** (リターン・モード) と順に繰り返し表示されますので、目的のモードを選択します。または、数字キー (**1**~**2**) で選択することもできます。
5. モードを選択し、**ENTER** キーを押して決定します。もし変更しない場合は **CANCEL** キーを押します。

加速度センサを調整するには：

加速度センサは、VORTEX Wireless を傾けた際にその傾きに応じて MIDI 情報を送信します。加速度センサが反応し MIDI 情報を送信している際には、**TILT** の LED が点灯し、ディスプレイにその数値が表示されます。ここでは、加速度センサが反応する範囲設定を行います。

1. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
2. **CAL ACCEL** キーを押します。ディスプレイには **XY1 (|Y1)** が表示されます。
3. 本体ネック部分を動かし、下限の位置に合わせます。
4. **ENTER** キーを押します。**XY1 (|Y1)** のポジションが決定され、今度はディスプレイに **XY2 (|Y2)** が表示されます。
5. 本体ネック部分を動かし、上限の位置に合わせます。
6. **ENTER** キーを押し、**XY2 (|Y2)** のポジションを決定します。**PATCH EDIT** ボタンを押し、パッチ・エディット・モードを抜け、パフォーマンス・モードに切り替えます。

加速度センサをオフにするには：

1. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
2. **EDIT ACCEL** キーを押します。ディスプレイには **Acc** と表示されます。
3. **MODE ASSIGN** のキーを押します。
4. **MODE ASSIGN** キーを押す度に、**cc > Pb > AF > oFF** と順に繰り返し表示されますので、**oFF** を選択します。
5. モードを選択し、**ENTER** キーを押して決定します。もし変更しない場合は **CANCEL** キーを押します。

ノブ、スライダ、加速度センサ、リボン・コントローラの各モードにおけるパラメータは、以下の表をご参照ください。

モード	ノブ	機能
コントロールチェンジ	Knob #1	CC # (0~127)
	Knob #2	レンジ最小値 (0~127)
	Knob #3	レンジ最大値 (0~127)
ピッチベンド	Knob #1	MIDIチャンネル (1~16)
	Knob #2	レンジ最小値 (0~127)
	Knob #3	レンジ最大値 (0~127)
アフタータッチ	Knob #1	MIDIチャンネル (1~16)
	Knob #2	レンジ最小値 (0~127)
	Knob #3	レンジ最大値 (0~127)

ピッチホイールの編集

ピッチホイールの方向を編集するには：

1. **PATCH EDIT** ボタンを押します。
2. ピッチホイールを動かします。ディスプレイには **Pth** と表示されます。
3. **MODE ASSIGN** のキーを押します。
4. **MODE ASSIGN** キーを押す度に、**Pc1 > Pc2** と順に繰り返し表示されます。**Pc1** が初期設定（奥がマイナス値、手前がプラス値）、**Pc2** が反転（奥がプラス値、手前がマイナス値）になりますので、目的のモードを選択します。
5. モードを選択し、**ENTER** キーを押して決定します。もし変更しない場合は **CANCEL** キーを押します。

START/STOPボタンの編集

START/STOP ボタンは、リアルタイム MIDI モードと CC モードのふたつのモードを切り替えることができます。リアルタイム MIDI モードでは、このボタンを押す度に、スタートの信号とストップの信号を順に繰り返し送信します。CC モードでは、押す度にふたつの異なる CC 情報を送信可能です。

START/STOP ボタンのモードを切り替えるには：

1. PATCH EDIT ボタンを押します。
2. START/STOP ボタンを押します。ディスプレイには PLY と表示されます。
3. MODE ASSIGN のキーを押します。
4. MODE ASSIGN キーを押す度に、rmd (リアルタイム MIDI モード) > cc (CC モード) と順に繰り返し表示されますので、目的のモードを選択します。または、数字キー (1~2) で選択することもできます。
3. 三つのノブ (K1~K3) を使って、(後述の表に基づき) 各パラメータの値を設定します。
ヒント：各ノブの値は、数字キーを使って数値を直接入力することも可能です。
4. ENTER キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は CANCEL キーを押します。

START/STOP ボタンの各モードにおけるパラメータは、以下の表をご参照ください。

モード	ノブ	機能
リアルタイム MIDIモード	Knob #1	モードの変更： (0~63) リアルタイムMIDIモード (64~127) CCモード
	Knob #2	n/a
	Knob #3	n/a
CCモード	Knob #1	モードの変更： (0~63) リアルタイムMIDIモード (64~127) CCモード
	Knob #2	スタート情報 CC# (0~127)
	Knob #3	ストップ情報 CC# (0~127)

キーボード・ゾーンの編集

VORTEX Wireless の鍵盤は、UPPER、LOWER と SPLIT の 3 つのモードに切り替えられます。UPPER と LOWER では、それぞれ MIDI チャンネルとトランスポーズ (移調) を設定することができます。SPLIT では、スプリットポイント (分割点) を決めて、UPPER と LOWER を組み合わせて使用可能です。また、UPPER、LOWER ボタンには、それぞれボリューム情報 (CC#7) の値を設定し、送信することができます。

スプリットポイントを設定するには：

1. PATCH EDIT ボタンを押します。
2. SPLIT ボタンを押します。ディスプレイには、現在のスプリットポイントの鍵盤位置 (左から数えた位置) が表示されます。
3. 分割したい位置の鍵盤を押します。
4. PATCH EDIT ボタンを押すことで決定・保存され、パフォーマンス・モードに切り替えます。

UPPER と LOWER のトランスポーズ (移調) を設定するには：

1. PATCH EDIT ボタンを押します。
2. UPPER か LOWER の、設定したいゾーンのボタンを押します。
3. ノブ 1 (K1) を回して、半音単位でトランスポーズを設定します (-12~+12)。
4. ENTER キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は CANCEL キーを押します。

UPPER と LOWER の MIDI チャンネルを設定するには：

1. PATCH EDIT ボタンを押します。
2. UPPER か LOWER の、設定したいゾーンのボタンを押します。
3. ノブ 2 (K2) を回して、MIDI チャンネルを設定します (1~16)。
4. ENTER キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は CANCEL キーを押します。

UPPER と LOWER のベロシティ・カーブを設定するには：

1. PATCH EDIT ボタンを押します。
2. UPPER か LOWER の、設定したいゾーンのボタンを押します。
3. ノブ 3 (K3) を回して、ベロシティ・カーブ設定します (1~8)。カーブの種類は、後述のグラフをご参照ください。
4. ENTER キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は CANCEL キーを押します。

UPPER と LOWER ボタンにボリューム情報 (CC#7) の値を設定するには：

1. PATCH EDIT ボタンを押します。
2. UPPER か LOWER の、設定したいボタンを押します。
3. 数字キーでボリューム情報 (CC#7) の値 (0~127) を入力します。
4. ENTER キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は CANCEL キーを押します。

プログラム・チェンジ情報の編集

VORTEX Wireless のパッチを呼び出した際に、同時に USB ポートまたは MIDI 出力端子からプログラム・チェンジ情報を送信します。ここでは、パッチが選ばれた際に送信されるプログラム・チェンジ情報を編集します。

プログラム・ナンバを設定するには：

1. まず、プログラム・チェンジ情報を送信するパッチを、PATCH SELECT ボタンとパッド 1~8 (P1~P8) を使って選びます (P01~P22)。
2. PATCH EDIT ボタンを押します。
3. PROGRAM SET キーを押し、その後、数字キーで送信したいプログラム・ナンバ(0~127)を入力します。
4. ENTER キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は CANCEL キーを押します。

LSB (Least Significant Byte) と MSB (Most Significant Byte) メッセージを設定するには：

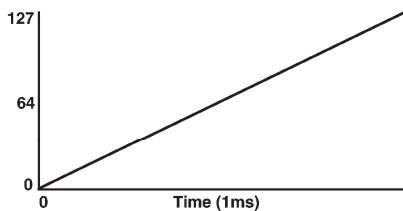
1. まず、プログラム・チェンジ情報を送信するパッチを、PATCH SELECT ボタンとパッド 1~8 (P1~P8) を使って選びます (P01~P22)。
2. PATCH EDIT ボタンを押します。
3. BANK MSB もしくは BANK LSB のキーを押し、その後、数字キーで MSB または LSB の値 (0~127) を入力します。
4. ENTER キーを押すことで決定し、パッチに保存されます。もし変更しない場合は CANCEL キーを押します。

パッチのリセット

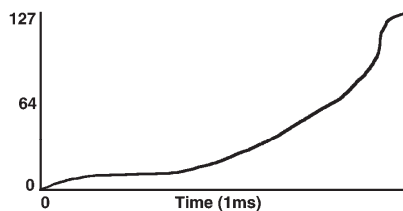
VORTEX Wireless のパッチをすべて初期設定に戻すには：

1. VORTEX Wireless の電源を切ります。
2. **START/STOP** ボタンと **PATCH SELECT** ボタンを押しながら、VORTEX Wireless の電源を入れます。
3. すべての LED が点灯しますので、そこでふたつのボタンから手を離します。
4. ネット部分の LED が 4 回点滅し、すべてのパッチが初期設定に戻り、VORETE Wireless が起動します。

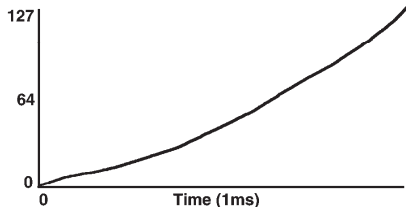
1 (pad default curve)



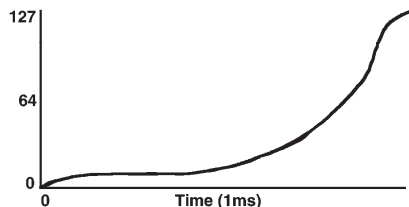
5 (keyboard default curve)



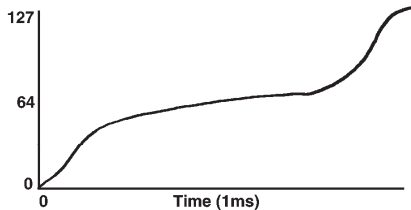
2



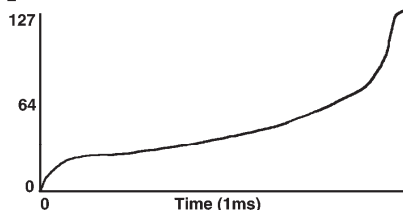
6



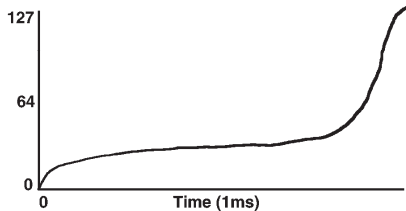
3



7



4



8



MIDIインプリメンテーション・チャート

	Transmit / Export	Recognize / Import	Remarks
1. Basic Information			
MIDI channels	1-16	1-16	
Note numbers	1-128	1-128	Lights pads assigned to note numbers
Program change	1-128	0-24	
Bank Select response	Yes	No	
Modes supported:			
Mode 1: Omni-On, Poly	No	No	
Mode 2: Omni-On, Mono	No	No	
Mode 3: Omni-Off, Poly	Yes	No	
Mode 4: Omni-Off, Mono	No	No	
Multi Mode	No	No	
Note-On Velocity	Yes	No	
Note-Off Velocity	No	No	
Channel Aftertouch	Yes	No	
Poly (Key) Aftertouch	No	No	
Pitch Bend	Yes	No	
Active Sensing	No	No	
System Reset	Yes	No	
Tune Request	No	No	
Universal System Exclusive	Yes	Yes	Device inquiry
Manufacturer or Non-Commercial System Exclusive	Yes	No	
NRPNs	No	No	
RPNS	No	No	
2. MIDI Timing & Synchronization			
MIDI Clock	No	No	
Song Position Pointer	No	No	
Song Select	No	No	
Start	Yes	No	
Continue	No	No	
Stop	Yes	No	
Record	No	No	
Fast-forward	No	No	
Rewind	No	No	
MIDI Time Code	No	No	
MIDI Machine Control	No	No	
MIDI Show Control	No	No	

仕様

電源：ACアダプタ（別売・5VDC、300mA、センタ+）、USBバスパワー、単三電池4本

サイズ (W x D x H)：約 892 x 269 x 56mm

重量：約 2.9kg

商標およびライセンス

Alesis は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

SONiVOX は SONiVOX の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

Ableton は Ableton AG の商標です。

その他の製品や会社名は、各社の商標および登録商標です。

alesis.jp